

# 第12次鳥獣保護管理事業計画の概要

I 計画の期間	平成29年4月1日から平成34年3月31日（5年間）
II 鳥獣保護区、特別保護地区及び休猟区	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鳥獣保護区の指定 指定箇所数 39</li> <li>○ 特別保護地区の指定 指定箇所数 10</li> <li>○ 休猟区の指定 指定箇所数 0</li> <li>○ 鳥獣保護区等の整備等 標識類、巣箱・給水施設等の整備及び管理に係る年次計画</li> </ul>
III 鳥獣の人工増殖及び放鳥	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放鳥計画 鳥獣保護区においてキジ・ヤマドリを放鳥することに係る年次計画</li> </ul>
IV 鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鳥獣の区分と保護及び管理の考え方</li> <li>○ 鳥獣の捕獲又は鳥類の卵の採取等に係る許可基準の設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学術研究、鳥獣保護、鳥獣の管理、その他</li> </ul> </li> <li>○ その他、鳥類の捕獲等に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・捕獲許可した者への指導、鳥類の飼養登録、販売禁止鳥獣の販売許可、住宅集合地域等における麻酔銃猟の実施に当たっての留意事項</li> </ul> </li> </ul>
V 特定猟具使用禁止区域、特定猟具使用制限区域及び猟区	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特定猟具使用禁止区域の指定 指定箇所数 105</li> <li>○ 特定猟具使用制限区域の指定 指定箇所数 0</li> <li>○ 猟区設定のための指導 設定箇所数 2</li> <li>○ 指定猟法禁止区域 指定箇所数 1</li> </ul>
VI 第一種特定鳥獣保護計画及び第二種特定鳥獣管理計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第一種特定鳥獣保護計画の作成方針 対象鳥獣なし</li> <li>○ 第二種特定鳥獣管理計画の作成方針 ニホンジカ、イノシシ、ニホンザルを対象</li> <li>○ 第二種特定鳥獣管理計画に係る実施計画の作成方針</li> <li>○ 指定管理鳥獣捕獲等事業の実施</li> </ul>
VII ツキノワグマの保護管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年間捕獲可能頭数の上限を定めて捕獲管理等</li> </ul>
VIII カワウの管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現在のコロナへの封じ込め等</li> </ul>
IX 鳥獣の生息状況の調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鳥獣生息分布等調査、ガン・カモ・ハクチョウ類一斉調査 ほか</li> </ul>
X 鳥獣保護管理事業の実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鳥獣行政担当職員の設置等 ○ 鳥獣保護管理員の設置等</li> <li>○ 保護及び管理の担い手の育成及び確保 ○ 鳥獣センター</li> <li>○ 取締り</li> </ul>
XI その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鳥獣保護管理事業を巡る現状と課題</li> <li>○ 狩猟の適正化</li> <li>○ 傷病鳥獣救護への対応</li> <li>○ 感染症への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連絡体制整備</li> </ul> </li> <li>○ 普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥獣の保護管理の普及啓発等(探鳥会、ポスターコンクール等)</li> </ul> </li> </ul>

## 課題

- 【管理】**
- 野生鳥獣による農林業被害は減少傾向にあるものの、依然として深刻
  - 県境をまたいで移動するニホンザルの個体群があり、被害防除対策が困難
  - キジ・ヤマドリの放鳥
    - ・キジによる農作物被害の発生
    - ・地域に生息する地域個体群の人工増殖が不可能
  - 外来鳥獣
    - ・アライグマの生息域の拡大と農作物被害の増加
  - 管理捕獲体制の一層の充実
  - イノシシにCSF（豚熱）の感染が県内全域で多数確認
- 【保護】**
- くくりわなによるツキノワグマの錯誤捕獲の発生
  - ツキノワグマの推定生息数の減少

## 鳥獣保護管理法基本指針

鳥獣の管理の強化	<b>第二種特定鳥獣管理計画</b> 目標達成のため、数値等で具体的に評価可能な目標を設定
	<b>広域連携</b> 都府県をまたぐ広域的な捕獲の強化
鳥獣の保護の推進の管理目標	<b>錯誤捕獲防止</b> 錯誤捕獲の防止のため、情報収集を進め、必要に応じわなの規制の見直しを図るとともに、捕獲者への指導、錯誤捕獲時の体制整備等の取組を推進
人材育成	<b>狩猟者の確保及び育成</b> 狩猟免許の取得促進のみならず、十分な捕獲技術をもった人材の育成を進める
感染症への対応	<b>感染症対策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野生鳥獣に関する感染症対策について情報収集及び鳥獣への感染状況等に関する調査等の実施</li> <li>・公衆衛生、家畜衛生等の担当部局等との連携・情報共有</li> </ul>

## 鳥獣保護管理に係る計画体系

